

本時の計画（メディアを学ぼう）

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアには、さまざまな意味があることがわかる ・メディアを分類するためのひとつの方法を知る ・メディアの機能的特性の視点を2つもち、代表的なメディアを意味づけして分類できる 			
評価規準	メディアという言葉の意味を理解し、メディアがもつ意味の広がりを理解することができる【知識・理解】 意欲的に作業に取り組み、代表的なメディアを自分の考え方と根拠をもって、分類しようとしている。【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】			
	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導 入 (10分)	各自のメディアの捉え方 教科書に書かれているメディアの意味	前時に自分の描いたメディアのイメージマップを思い出す。 教科書に書かれているメディアの意味を確認する	生徒のもつメディアのイメージをふり返る 56ページに書かれているメディアを取り上げ、教科書が書かれた時のメディアの捉え方を説明する。現在は、もう少し広がりを持った意味であることを紹介する	
展 開 (25分)	「メディアを学ぼう」 I.メディアとは II.メディアの種類 III.メディアの特性	Flash教材 http://medialiteracy.matrix.jp/mediaedu/media.swf のページをみる 「Mediumの複数形」、「中間にあつて作用するもの」、「情報を伝える媒体」などメディアの意味をノートにまとめる テレビの例から、人、モノ、経路、内容などのすべてがメディアであることに気づく ①マスメディアの意味を知る ②パーソナルメディアの意味を知る ③インターネットの意味を知る 同期性、非同期性の意味を知る メールは同期性・非同期性のどちらか？を考える メディアの機能的特性の視点を2つ持ち、代表的なメディアの意味づけしたマトリックス図をワークシートに作成する	「メディアを学ぼう」のFlash教材を使って説明する 画面をそのまま写すのではなく、ノートは自分がわかるように書くことを指示する 媒介という言葉の意味（風媒花、虫媒花を例に挙げて）を詳しく説明する テレビの例では、絵の意味を想像させながら、メディアのもつ広がりを考えさせる mass + media, massの意味を教える 送り手、受け手という言葉の説明する 多数とは何人からか考えさせる 不特定多数、特定多数の意味を考えさせる コミュニケーションの形態から、送り手＝受け手の関係を考えさせる 図より一方向性、双方向性について触れる どうして、3つめの分け方が③インターネットなのかを想像させる（①と②と異なる第三の意味、①と②の両方をもつ意味） 8つの機能的特性を説明する 同期性、非同期性を電話・ファックスの例を挙げて説明する。その際、メールを取り上げ、同期性、非同期性を考えさせる メール扱いが、人によって異なることが、メディアとの関わり合い方を示すことに気づかせる ワークシートを配布する 同期性⇔非同期性、一方向性⇔双方向性などのように2つの視点をもたせ、メディアを分類させる。その際、自分なりの根拠を持って分類するように指示する	ノートを取り、積極的に授業に参加している【関心・意欲・態度】 ノートの取り方を工夫しているか机間巡視で確認する【関心・意欲・態度】 メディアのつき合い方の違いに気づく【思考・判断・表現】 視点と根拠を持って、メディアを分類している【知識・理解】 【思考・判断・表現】
ま と め (5分)	まとめ宿題の説明	宿題を確認する	次時まで、ワークシートを完成させることを連絡する	